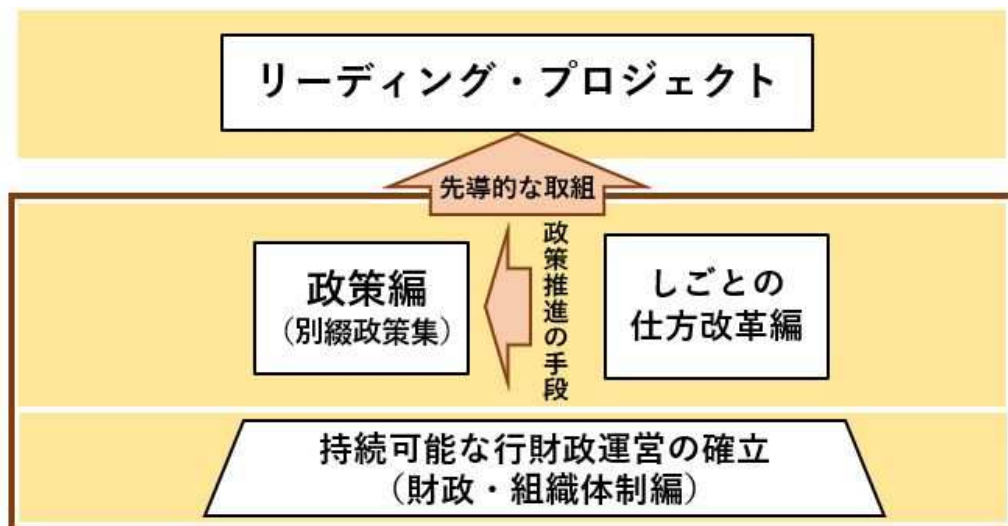


新京都戦略実施状況（報告）

新京都戦略では、令和 9 年度までに取り組む政策や、政策を推進するためのしごとの仕方改革、持続可能な行財政運営の確立を一体的に進めており、とりわけ、「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向けた先導的な取組を「リーディング・プロジェクト」に位置付けて強力に推進しています。

(新京都戦略の構成)



新京都戦略の初年度となる令和6年度の実施状況については、次のとおりです。

「政策編」については「2 令和6年度の概況・実施状況」を、「しごとの仕方改革編」及び「持続可能な行財政運営の確立（財政・組織体制編）」については「4 行政経営の大綱の実施状況」をもって報告とします。

以下、「リーディング・プロジェクト」の実施状況とともに、関連指標の状況について、報告します。

1 ひらく

① 世界中からクリエイティブ人材がつどい・交じる「テラス」のまちプロジェクト

- 都市の多様性・包摂性を高め、日本中・世界中から、アーティストやクリエイターのみならず、職人、料理人など京都の価値に共感する多彩なクリエイティブ人材を呼び込み、居住や一定期間滞在できる環境をつくり、地域との交流、作品の制作・発表ができる機会を創出。
- クリエイティブ人材を自律的・持続的に受け入れるための仕組みを構築（ネットワークの形成等）し、地域との交流も促進。交流による新たな文化や産業の創出、地域課題の解決等につなげる。
- 大学のまち・世界に開いたまち京都の特性を活かし、サバティカル休暇を取得する海外の研究者や留学生等が、京都に来て、地域に調和しながら安心して快適に暮らし、活躍できる環境を整えるため、相談窓口を設置するとともに、日本語や日本文化を学べる拠点を充実。

令和6年度（2024年度）の主な取組

- ・ 京都芸術センターによるアーティスト・イン・レジデンス事業により、海外アーティストを受け入れるとともに、国内アーティストを海外（オーストラリア、ノルウェー）に派遣
- ・ 京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくりを目指し、海外のクリエイター（アーティスト・キュレーター、都市計画家・デザイナー、建築家、家具職人・彫刻家）を受け入れるモデル事業を実施するとともに、レジデンス施設のオーナー等のネットワークの形成に向けたミートアップを実施
- ・ 芸術家等が京都に集い、住み、活動しやすい、アーティストにとって魅力的な環境づくりを推進し、京都への移住・定住を促進するため、京都市文化芸術総合相談窓口で文化芸術関係者の移住・居住及び短期的な滞在も含めた相談に対応

② 公共空間をまちに開くパブリック「テラス」プロジェクト

- 公園や学校、ホール、市役所前広場をはじめとする公共空間や、人々を癒し、コミュニティの中核をなす銭湯などの民間施設について、市民、地域、NPO、企業、大学などの多様な主体が活用しやすくなるよう見直し、開かれたテラスのように気軽につどい・つながり・交ざり合う機会を創出。

市民、地域、民間事業者等との双方向のコミュニケーションの下、行政のしごとを市民等にひらき、多様な主体が自分事として、満足度を持って公共にかかわることができるまちへ。

- 図書館における交流機能を高めるなど多機能化し、カフェなど居心地のよい第三の居場所（サードプレイス）づくりに取り組むとともに、さらには、新たなつながりや活躍の機会を創出し、価値や気づきに出会える場所（フォースプレイス）に。

令和6年度（2024年度）の主な取組

- ・ Park-UP 事業活用の第1号公園として、地域、株式会社セブン・イレブン・ジャパン、京都市の三者で連携し取組を進めてきた北鍵屋公園において、公園利用者なら誰でも利用可能な地域交流施設と、併設の便益施設（コンビニエンスストア）がオープン
- ・ 市役所本庁舎において、屋上庭園で試行的に祇園祭前祭の山鉦巡行を鑑賞いただく取組を実施したほか、正庁の間・和室を会場にお茶文化に触れていただく「御池茶会」を開催
- ・ 市役所北庁舎の整備に合わせて、市民をはじめ誰もが気軽に利用できる場所として、中庭や北庁舎1階オープンスペースを整備したほか、北庁舎3階には市会オープンスペースを設置
- ・ 市役所前広場において、人々が集い、交流し、新たな活動や価値が生まれるサードプレイスの創出を目指し、毎月1回「小さな芝生広場の実験」を実施
- ・ 西京区総合庁舎東庁舎の開所に合わせてオープンした、親子で自由に過ごせる子育て交流ひろば「てって」において、親子で一緒に楽しめるイベント等を定期的に開催
- ・ 図書館のサードプレイス化を目指し、地域の特色を踏まえ、比叡山を間近に望む岩倉図書館中庭のウッドテラスの改修等を実施

③ 市民生活と「観光」の両立プロジェクト

- 市民生活と「観光」の調和・両立に向けて、宿泊税も効果的に活用した観光課題対策はもとより、全国初のパイロットプロジェクトとなる市バス等の「市民優先価格」を実現。市民が観光の意義や効果をより実感できる環境づくりを推進。
- 古来の「観光」の語源に立ち返り、京都の光（文化や風俗等）を観てもらうため、暮らしの文化やそれを支える人々など京都に息づく多様で奥深い魅力を活かした「暮らすように旅する観光」の推進により、リピーター化や長期滞在を促進。関係人口増にもつなげる。
- 二条城をはじめとしたユニークベニユーの活用など京都の強みを活かしたMICE誘

致を強化。多彩な分野で世界の最先端を走る人々が京都につどう機会を活かし、市民や学生、研究者、企業等との交ざり合いや学びの場を生み出し、新たな価値の創造につなげる。

令和 6 年度（2024 年度）の主な取組

- ・ 市バス等の市民優先価格の制度構築に向けた支援について、国土交通省に要請
- ・ 市民利用と観光利用のすみ分けを図るため「観光特急バス」を新設
- ・ 観光関連事業者が提供する割引等の市民限定サービス情報や、観光の意義・効果等を発信する市民向けサイト「LINK! LINK! LINK!」を開設
- ・ 多様で奥深い魅力を活かした「観光」、市民生活と「観光」の調和・両立の更なる推進に要する財源として活用するため、宿泊税の税率を引上げ（適用：令和 8 年 3 月）
- ・ 府市連携による周遊観光の一層の推進を目指し、「もうひとつの京都」エリアと「とっておきの京都」エリアをめぐる「まるっと京都」周遊観光ツアーを造成
- ・ 手ぶら観光を推進するため、秋・春の観光シーズンにおいて京都駅周辺で臨時手荷物配送・預かり所を設置するほか、秋の観光シーズンにおいて大型手荷物を携行する観光客等を対象に、京都駅を起点に市内宿泊施設等を巡回する専用バス（HANDS FREE BUS）の導入実証事業を実施
- ・ 秋の観光ピーク期における東大路通の渋滞対策として「東大路通社会実験」を実施
- ・ 嵐山地域において、特定箇所への観光客の集中を緩和するため、デジタルマップの活用等による回遊性の向上と分散化を促進
- ・ 観光地等のごみ対策としてスマートごみ箱を設置するとともに、投入されるごみ量が特に多い時期には収集回数を追加

2 きわめる

④ 「世界に唯一」を目指し、知や技術を創発する企業立地促進プロジェクト

- 国内外の突き抜けた企業の立地や多彩な人材の集積により、経済や産業基盤を強化。また、世界との交流・協働を促進することで、誰もがあこがれる世界に唯一のビジネス都市・京都を実現。
- 国、府等との連携による広域での半導体関連産業やメディア芸術などの産業育成・企業立地を促進。
- オフィスや民間ラボの開発促進、共創の場づくりなど、外部からアイデアを取り入れ、京都企業が発展するためのオープンイノベーション環境を創出。
- 京都駅周辺を新たなビジネス・交流の創造拠点へ。オフィス・商業施設の供給促進、市有地の有効活用により都市機能を集積。

令和6年度（2024年度）の主な取組

- ・ 京都サウスベクトルの本社オフィス立地第1号として、第一工業製薬株式会社が、本社・工場等新增設等支援制度を活用し、京都駅八条口に本社オフィスを移転
- ・ 府市トップミーティングにおいて、京都市から関西文化学研都市までを含む広いエリアで、半導体の素材研究から半導体デザイン、生産実装まで、一貫した半導体エコシステムの構築を目指す「(仮称) 京都半導体バレー構想」の骨格案を発表
- ・ 崇仁市営住宅8棟跡地の活用事業者を選定（事業名称：(仮称) 京都駅東部複合型拠点整備PJ、事業概要：JR 東海グループによる商業開発と日本電気硝子株式会社の本社機能移転）

⑤ 世界にインパクトを与えるスタートアップ創出・成長プロジェクト

- 京都の強みである大学の研究知や、高いものづくり技術を活かし、積極的な海外展開等の支援により、社会課題の解決など長期目線で社会にインパクトを与えるグローバル企業を京都から創出。
- ライフサイエンス等の成長が期待される分野において、世界にインパクトを与える研究技術（ディープテック）の事業化支援、高度な人材の発掘・育成、海外展開等による成長支援を通じ、世界を変えるスタートアップを創出。
- スタートアップの支援強化に向け、経営人材を育成・誘致するとともに、交流イベント等を通じたネットワークを構築。

令和6年度（2024年度）の主な取組

- ・ グローバル展開を見据え、あらゆる分野の社会課題解決に挑む創業予定者やスタートアップを支援するプロジェクトの実施
- ・ 大学における優れた研究シーズの発掘と社会実装化の支援のため、社会課題の解決につながる大学研究者の研究開発への助成とオープンイノベーション交流会の開催により研究シーズを発信

- ・ スタートアップの創出・成長支援のための経営人材の確保や大型の資金調達につながる環境の充実に向けて、大企業、VC（ベンチャーキャピタル）、大学、経営人材等が参加する交流会や京都の大学研究シーズ発掘・起業セミナーの開催
- ・ 国内最大規模のスタートアップカンファレンス「IVS」が2年連続京都で開催、300件を超えるサイドイベントを含め、国内外の起業家や投資家等の交流を促進

⑥ 「千年の都から次の千年へ」文化継承・価値創造プロジェクト

- 伝統産業とアートやファッション等との融合により京都の新たな価値創造につなげるなど、国内外の販路の開拓・拡大、担い手の育成等を行う先進的な取組を支援。
- 生活の中に伝統と文化が息づくまちの強みを活かし、感性豊かな子どもの頃から、能・狂言など伝統芸能をはじめとする文化芸術、豊かな自然、ものづくりに直接触れる機会、世界に誇る食文化など京都ならではの多様な体験を得ることができる環境を整備。京都の文化芸術等を支え、継承・創造していく次世代の「担い手・支え手」の資質を育成。
- 京都市交響楽団をワールドクラスのオーケストラへ発展。京都のクラシック音楽の殿堂「京都コンサートホール」の大規模改修を機に、音楽を通じた多様な人の交流、将来の担い手育成等を通じて、北山エリアの文化・交流拠点化につなげ、京都を音楽の都に。
- 文化と経済の好循環創出を目指し、カルチャープレナー（文化起業家）との連携による更なる価値創造、国内外からの投融資の更なる呼び込み。

令和6年度（2024年度）の主な取組

- ・ 伝統産業未来構築事業として、伝統産業のマーケットの拡大、新商品開発を含む商品力の向上、後継者・技術者の確保・育成、海外展開につながる事業を対象に支援、外部講師によるセミナー及び交流会の開催
- ・ 伝統的な文化芸術から現代芸術まで、幅広い分野にわたり京都で活動する芸術家が小学校等で授業を行う「文化芸術授業（ようこそアーティスト）」や中学生を対象に伝統的な文化芸術や和の文化を鑑賞し魅力に触れる「伝統公演授業（ようこそ和の空間）」の実施
- ・ 全市立小学校での茶道体験、全市立中学校での華道体験や、市立高校生を対象とした茶道や和装着装、能楽鑑賞、坐禅体験などの伝統文化体験事業を実施（市立高等学校全9校参加）
- ・ 京都コンサートホールの魅力向上に向けた大規模改修に係る基本設計の実施
- ・ カルチャープレナー（文化起業家）アワード及びカルチャープレナーやその活動に関心を持つ関係者等が交流するキックオフイベントを開催

⑦ まち中に「学芸」があふれるプロジェクト

- 学問、学びだけでなく、芸術・技芸があふれる唯一のまちを目指し、歴史、文化、大学の知が集積する京都のまちの強みを活かし、京都ならではの市立・府立高校の連携、高大連携等により、探究型学習、STEAM 教育、演劇教育を実践、さらには起業家精神を醸成。次代を担う子どもたちの「生きる力」と「創造的な発想力」を養い、グローバルに活躍できる人材を育成。突き抜けた人材が学校教育で幅広く活躍できる場を提供。
- 生活の中に伝統と文化が息づくまちの強みを活かし、感性豊かな子どもの頃から、能・狂言など伝統芸能をはじめとする文化芸術、豊かな自然、ものづくりに直接触れる機会、世界に誇る食文化など京都ならではの多様な体験を得ることができる環境を整備。京都の文化芸術等を支え、継承・創造していく次世代の「担い手・支え手」の資質を育成（再掲）。
- 大学・学生が京都のまち全体をキャンパスに学びを深め、その力を地域活性化や社会課題解決に。学生の出会いと交流を通じた京都への愛着の醸成、市内就職・定住の促進、京都との関係の構築により、将来的な京都への定着を促進。

令和 6 年度（2024 年度）の主な取組

- ・ 京の高校生探究パートナーシップ事業として、府市連携による合同探究成果発表会「京都探究エキスポ」の開催、高校生の探究活動を大学院生等がより専門的に支援するティーチングアシスタントを配置
- ・ ユース・アントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成に向けた、中高生向け講演会・ワークショップの開催
- ・ 伝統的な文化芸術から現代芸術まで、幅広い分野にわたり京都で活動する芸術家が小学校等で授業を行う「文化芸術授業（ようこそアーティスト）」や中学生を対象に伝統的な文化芸術や和の文化を鑑賞し魅力に触れる「伝統公演授業（ようこそ和の空間）」の実施【再掲】
- ・ 全市立小学校での茶道体験、全市立中学校での華道体験や、市立高校生を対象とした茶道や和装着装、能楽鑑賞、坐禅体験などの伝統文化体験事業を実施（市立高等学校全 9 校参加）【再掲】
- ・ 魅力ある地域づくりや地域の課題解決に向けて、大学・学生と地域が一体となって取り組む事業を広く募集、選定し、支援金を交付する「学まちコラボ事業」の実施
- ・ 京都の大学で学ぶ学生を対象に、普段経験できない京都の多様で奥深い魅力を対面で学ぶ“京都ならではの体験型”イベントを実施

3 つなぐ

⑧ 市役所・区役所の「つなぐ」機能強化プロジェクト

- 地域において、組織間の垣根を越えて、地域・企業・大学・福祉関係団体・NP0 等多様な主体のつながり、結びつき、交ざり合いを促進するため、人と人をつなぐ「結節点」として、区役所・支所の更なる機能を強化。

さらに、「結節点」の核となる人材を育成し、地域の内外の人材の交ざり合いにより、「居場所」と「出番」を創出し、持続可能で多様なコミュニティの形成を支援。

- 多くの学生が学び、観光客が訪れるなど京都のまちの特性に留意しながら、地域の様々なニーズを区役所が把握し、それを基に区役所と本庁が共に政策を磨き上げ、市民が政策の効果を実感することができる取組を実践。

令和 6 年度（2024 年度）の主な取組

- ・ 多様なコミュニティの結節点としての区役所機能充実にに向けた取組の検討
- ・ 「新しい公共」推進プロジェクトチーム」を設置し、「新しい公共」の理念による市民参加型行政と重要政策を推進
- ・ まちづくりに意欲を有する職員が、組織の壁を越えて新しい公共の理念に基づくまちづくりを実践するチームとして、「京都まちづくり DAO」を立ち上げ、活動

⑨ 地域の「絆」で支え合う子育て応援プロジェクト

- もっと子育てがしやすくなり、若者・子育て世代から選ばれるまちとなるよう、第 2 子以降の保育料無償化の実施、府市協調による子ども医療費支給制度の充実など子育て世帯の経済的負担の更なる軽減。

住宅取得・改修の支援など、若者・子育て世帯の定住・移住を促進。

- 公園の魅力向上やスポーツ施設など地域の施設の活用、地域団体の連携等により、子ども・若者の「居場所」と地域活動への参加等による「出番」を創出。地域の絆や社会全体で子どもを見守り育てる包摂性を大切にし、つながり、支え合う子育て環境を充実。

令和 6 年度（2024 年度）の主な取組

- ・ 子育て世帯の本市への定住・移住と既存住宅の流通の促進を目的に、未就学の子どもがいる世帯が既存住宅を購入した場合に最大 200 万円を交付する京都安心すまい応援金を創設
- ・ 市営住宅の空き住戸を活用した「若者・子育て応援住宅（愛称：こと×こと）」の提供
- ・ こどもまんなか公園魅力アッププロジェクトとして、老朽化した遊具の更新、トイレリニューアル・便器洋式化の実施、インクルーシブ遊具の新設、危険木の植替え
- ・ 宝が池公園運動施設内に、全国的にも数少ない大型バーチカルが配置され、スケートボードをはじめとするスケート競技で利用できるメインパークと、3X3 バスケットボール（初心者）を中心に様々なアーバンスポーツで利用できるミニパークを整備

- ・ meetus（ミータス）山科－醍醐「みんなで創るまち PLAN」において、元ラクト健康・文化館への山科図書館の移転・機能充実や大型の子どもの屋内遊び場の併設、東部クリーンセンター跡地に子どもから大人まで交流できるコミュニティスペースや子どもの居場所・遊び場などを備えた新しい複合図書館等の整備の検討等を発表

⑩ 京都固有の町並みを次世代に「つなぐ」プロジェクト

- 京都の歴史、文化、町並みの象徴である京町家について、滅失の危機を回避し、次の世代に保全・継承していくため、より実効性の高い施策を構築。相続税・固定資産税など所有者の負担軽減に向けて国と連携。
- 京都特有の水辺環境や自然、文化など鴨川や高瀬川が持つポテンシャルを活かし、府市協調・公民連携で鴨川・高瀬川エリアの魅力を向上。

令和6年度（2024年度）の主な取組

- ・ 京町家に係る現行施策の効果検証及び施策の在り方の検討に向けた基礎資料とするため、京町家の残存状況等に係る基礎調査を実施
- ・ 「京都市京町家保全・継承審議会」に対し、京町家条例をはじめとする現行施策の点検及び検証並びにより実効性の高い施策の在り方について諮問、及び同諮問事項について専門的に議論を行うため同審議会に「京町家施策検討専門部会」を設置
- ・ 歴史的建造物（京町家等）に係る相続税、固定資産税及び都市計画税の課税標準の特例措置の創設・拡充や相続税の納税猶予制度の創設について、文化庁及び国土交通省に要望
- ・ 鴨川の魅力向上に向けて、鴨川（三条～四条間）とその周辺エリアにおける夜間景観づくりのための社会実験や地域や関係団体と連携した居心地のよい公共空間づくりの社会実験、鴨川夜間景観づくりワークショップを実施

⑪ 「山紫水明の都」ならではの生物多様性・未来継承プロジェクト

- 京都の文化や暮らし・営みを彩ってきた生物多様性の恩恵を共に未来へ引き継ぐため、市民・事業者・観光客の参加により、京都の自然の素晴らしさを身近に感じ、発見し、愛着を深めるプラットフォーム「生きものむすぶ・みんなのミュージアム」を創設。
- みんなで創る仕掛けである「生きもの×京都の魅力」のライブラリー化、ライブラリーのテーマや地域性、共通の興味・課題等でつながる方々が交ざり合う場の創出、サポーターによる活動支援により、生物多様性をきっかけに、京都への愛着とまちの魅力を向上。
- 「豊かな脱炭素社会」を実現し、生態系や水、大地・森林など、みんなの財産である自然環境の保全と同時に経済価値を創出するため、サーキュラーエコノミーを体現したビジネスモデルの創出やグリーン農業の支援など、循環型の経済活動への移行を促進。

令和 6 年度（2024 年度）実施状況

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を環境省が認定する「自然共生サイト」への認定を促進・ 環境保全型農業の更なる普及に向けた、グリーンな栽培体系への転換に向けた取組支援や、消費者理解の醸成に向けた地域ブランドの推進 |
|---|

関連指標（リーディング・プロジェクト）

	指標	計画記載の 現況値	直近の値	目標値
1 ひ ら く	オープンパブリックスペースの活用団体数	19 団体 (R6)	19 団体 (R6)	100 団体 (R9)
	専門的・技術的分野の外国人材の人数	7,967 人 (R5)	10,362 人 (R6)	16,000 人 (R9)
	観光客のリピーター率（日本人（10 回以上）・外国人（2 回以上））	日本人：56.5% (R5) 外国人：26.7% (R5)	日本人：53.0% (R6) 外国人：24.1% (R6)	H27 以降の最高値 (R9)
	「国内外からの多様な人々との交流により、新たな価値や学びに出会えている」と思う市民の割合	R7 から計測	39.8% (R7)	—
2 き わ め る	創造的活動等が認定された企業数	521 件 (R5)	560 件 (R6)	644 件 (R9)
	スタートアップ設立件数	172 件 (R2.8～R6.3)	222 件 (R2.8～R7.3)	京阪神でのスタートアップエコシステム拠点都市の動向を踏まえ設定
	国内外の企業立地件数	50 件/年 (R5)	51 件/年 (R6)	60 件/年 (R9)
	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と思う小・中学生の割合	77.5% (R5)	81.1% (R6)	R5 数値以上 (R9)
3 つ な ぐ	地域住民・団体がつながり、新たに生まれた・充実した地域活動数	R7 から計測	—	100 件 (R9)
	京町家数の推移（実残存軒数/予測残存軒数）	1 (R6)	1 (R6)	1 以上 (R9)
	「京都の身近な自然環境が守られ、受け継がれている」と思う市民の割合	R7 から計測	36.7% (R7)	—
	「近所で日頃からあいさつが行われるなど、人と人とがつながっている。」と思う市民の割合	R7 から計測	35.5% (R7)	—

関連指標（政策の柱（モニタリング指標））

政策の柱	指標	計画記載の 現況値	直近の値
1 京都のまちが 紡ぐ文化の力を活 かし「新たな魅 力・価値を創造し 続けるまち」	「文化芸術活動によって、社会や経 済が活気づいている」と思う市民の 割合	28.8% (R5)	30.0% (R7)
2 居場所と出番 により、つなが り・支え合う「包 摂性が高く誰もが 生き生きと活躍で きるまち」	「近所で日頃からあいさつが行われ るなど、人と人とがつながり、安心 して暮らせる地域になっている」と 思う市民の割合	32.0% (R5)	30.1% (R7)
	「様々な団体が地域の活動に参加し ており、地域における支え合いの活 動が活発 になっている」と思う市 民の割合	21.6% (R5)	23.1% (R7)
3 京都の伝統・ 知恵・イノベー ションの力により 「都市の活力と成 長を支える産業が 育つまち」	企業経営実績について、前年と比較 して、改善したと思う中小企業の割 合	28.7% (R6)	28.7% (R6)
	「国内外から起業家など様々な人が 集まり、世界に羽ばたく企業が生ま れている」と思う市民の割合	28.8% (R5)	33.5% (R7)
4 京都ならではの 学びと子育て環 境を通して「未来 を担う子ども・若 者を社会全体で共 にはぐくむまち」	「課題の解決に向けて、自分で考 え、自分から取り組んでいる」と思 う小・中学生の割合	77.5% (R5)	81.1% (R6)
	「子どもの見守り活動など、身近な 地域で子どもとの交流や子育て支援 の取組が進んでいる」と思う市民の 割合	32.6% (R5)	34.1% (R7)
5 豊かな自然・ 歴史的景観と地域 の魅力を活かした 「自然環境と調和 する持続可能なま ち」	自然環境と調和した文化や暮らしが 広がっていると答えた市民の割合	39.7% (R5)	40.8% (R6)
6 市民のいの ち・暮らしを守る 「安心安全で災害 に強いレジリエン トなまち」	「地域のつながり・交流が深まり、 犯罪等の心配が少なく、安心して安 全にらせるまちとなっている」と 思う市民の割合	21.8% (R5)	26.4% (R7)
	「自治会・町内会や行政等がしっか り連携し、災害などが発生した際に しなやかに強く対応できている」と 思う市民の割合	26.2% (R5)	23.1% (R7)